

## vacancy image

KUNST ARZT では、石田小榛の三度目の個展を開催します。  
石田小榛は、写真上の光と影の考察により、  
作品展開してきたアーティストです。  
鏡やガラスなどの素材が生み出す「映り込み」、  
カメラの適正露出を超える明るさが生み出す「白飛び」  
といった写真上のエラーや、光源と被写体とカメラの位置関係が生み  
出す影を想像する余地と捉え、発泡スチロールや真鍮の板などの3次  
元物に抽出し、元となる写真と並べて提示してきました。  
本展でも、写真と現実のズレから生じる世界をお楽しみください。  
(KUNST ARZT 岡本光博)

### 〈 展覧会内容 〉

スナップ写真と立体物から構成される展示空間はインスタレーション  
の側面も持っている。私の関心は”ない”ものにあり、そのモチーフ  
として光を使用する。光が作り出す輪郭は実際の形をもたない輪郭で  
あり、写真を撮ることでその存在が強調される。  
写真が浮かび上がらせた光の輪郭を、真鍮で立体物にする。  
真鍮がもつ金属色は、写真のような印刷物がもたない色だ。  
“ない”ものの輪郭を立ち上がらせることで、日常的な景色への視点  
の変化を意図している。  
(石田小榛)



「光のふるまいを見つめる」  
2021  
インクジェットプリント、真鍮、合板  
900×1750mm

### 経歴

1995 兵庫県生まれ  
2020 京都精華大学大学院芸術研究科博士前期課程修了

### 個展

2018 「see the same thing」 KUNST ARZT (京都)  
2020 「CONTOUR OBJECT」 ANAGRA (東京)  
2020 「line to see」 KUNST ARZT (京都)  
2020 「Brightness, will tell you.」 Lights Gallery (名古屋)

### グループ展

2018 「SICF19」 南青山スパイラルホール (東京)  
2018 「第43回全国大学版画展」 町田市立国際版画美術館 (東京)  
2018 「プラグマのダンス」 KYOTO ART HOSTEL Kumagusuku (京都)  
2019 「切り取るための風景」 KYOTO ART HOSTEL Kumagusuku (京都)  
2019 「架空の怪獣について」 ギャラリー恵風 (京都)  
2019 「kino print」 ギャラリーヒルゲート (京都)  
2021 「Kyoto Art for Tomorrow 2021 - 京都府新鋭選抜展 -」 京都文化博物館 (京都)

2021年5月18日(火)から23日(日)

12:00から18:00

会場: KUNST ARZT

605-0033 京都東山区三条神宮道北東角 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

vacancy image

アーティストステートメント + 展覧会コンセプト

街を歩いていると見えていなかったものが急に見えるときがある。  
ルビンの壺のように図と地がパチンと入れ替わる瞬間。  
目にはフィルターがあって視界に入る膨大な情報の中から必要な情報だけが見えるようになっている。  
そのフィルターは無意識で選別をしているらしい。  
なにかが見えていなかったとしても私はそれに気づくことはないのだろうか。  
私の関心はないものにある。  
視界に入っていたはずのもの、形をもたないもの。  
そのような曖昧な輪郭を浮かび上がらせることで見えてくる景色を見る。



「CONTOUR OBJECT」2020 インクジェットプリント、真鍮



「CONTOUR OBJECT」2020 インクジェットプリント、真鍮